

第4章

由布市の自然



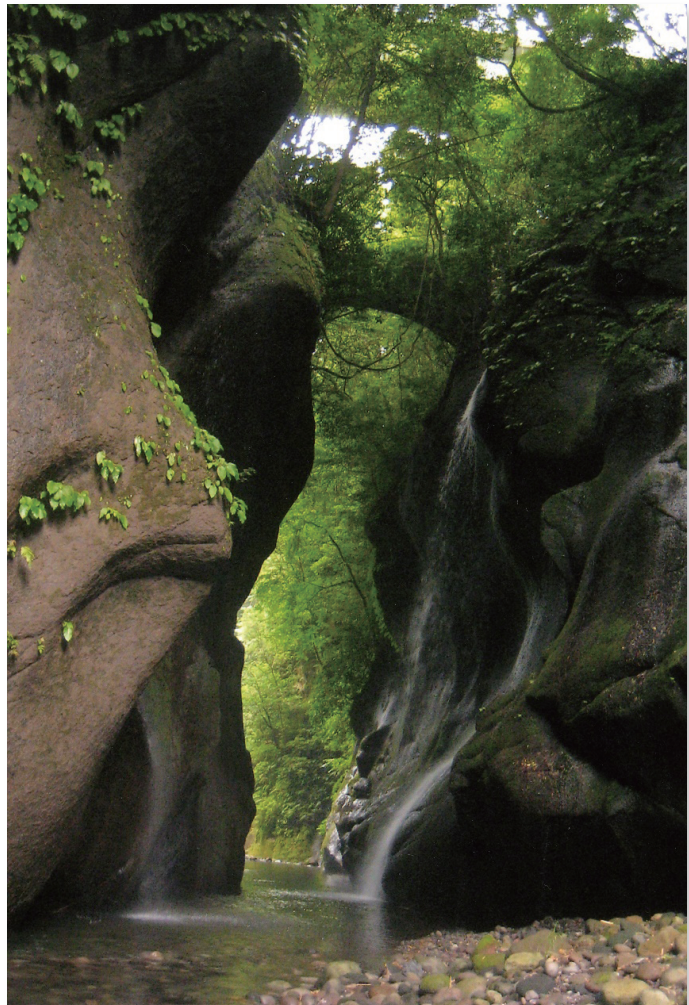
ゆふがわきょうこく 由布川峡谷

県指定文化財【名勝】昭和34(1959)年3月20日指定

ゆふがわきょうこく おおいたがわ しりゅう ゆふがわ しょうりゅう ちゅうりゅう なが
由布川峡谷は、大分川の支流となっている由布川の上流、中流の長さ約12kmの峡谷です。谷の幅は4mから10mと狭く、両岸はがけのようになっている、低いところでも10m、高いところでは80mにもなります。谷のそこは、夏は涼しく、冬はあたたかく感じられます。一年中しめっていて、そういった場所を好む植物がみられます。めずらしい鳥も多く生息しています。さまざまに分かれて流れ落ちる水や、しなやかな岩肌は天然の芸術作品で、「東洋のチロル」と呼ばれています。

貴重な地質がみられる場所

由布川峡谷は、由布川火砕流により厚く堆積した火砕流堆積物を由布川が長い時間をかけて浸食されたことによって形成された峡谷です。切り立った崖からは、火砕流堆積物の特徴でもある小さな軽石をたくさんみることができます。このように、由布川峡谷は地質学的にも観察しやすい環境がある、貴重な学びができる場所になっています。



オトメクジャク

この植物は、日本では大分県でしか確認されていないシダ植物で、安心院の一部と挾間の一部でしかみることができません。オトメクジャクが好んで生育する石垣などが減っているため、絶滅が心配されています。



マツバラ

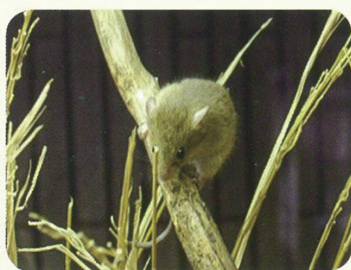
挾間地域の鬼瀬周辺に、マツバラの群落があります。この植物は、根も葉もない茎だけの原始的な植物で、「生きた化石」とも言われています。黄色い実のようなものは「胞子」がはいっている袋です。



まだいる! 貴重な生き物たち

ヒゴタイ

夏に青紫色の球のような花を咲かせるヒゴタイは、西日本より南のごく一部でしかみることができません。このため、環境省が絶滅危惧種として指定しています。由布市では由布岳等で美しい姿をみることができます。



カヤネズミ

我が国で確認されているネズミの中で、最も小さいネズミです。カヤヤスキなどのイネ科の植物が多く生えている草原や河原などにすみますが、そのような場所が減っているため、なかなかみることができません。

ブツポウノウ(仏法僧)

営巣に適した老木が少なくなったことで、生息数が減少しており、環境省、大分県ともに絶滅危惧IB(EN)に指定されています。日本では、夏鳥として、本州、四国、九州で繁殖をしています。庄内地域においても、飛来が確認されています。



庄内地域

なかとみじんじゃ しんぼく 中臣神社の神木アカガシ

市指定重要文化財【天然記念物】
平成19(2007)年6月29日指定

木の^{き たか}高さは18m、^{むね たか}胸の高さでの^{みき}幹の
^{ふと}太さは4m65cm、^{えだ は なんぼく}枝張り南北22mを
^{はか こぼく}測る。古木であることと、かつての
^{しょくせい ようそう つた きちよう}植生の様相を伝える貴重なもので
す。



お いけゆうすいぐん 男池湧水群

「日本の名水100選」に選ばれた男池
は、^{くろだけ と ざんぐち}黒岳の登山口のそばにあります。
^{あお とお みず うつく}青くすき通る水がとても美しいです。
^{くろだけ あめ ねん}黒岳にふった雨が1年ほどかけて、ミ
ネラルをたっぷり^{ふく}含んでわき^で出てき
ます。近年ではペットボトルでも販売
^{きんねん はんばい}されています。



めいすい たき 名水の滝

名水の滝は、男池の下流にある、湧水
をたっぷり^{ふく}含んだ滝です。^{しょうないち い き}庄内地域の
^{あ そ の ち く なつ}阿蘇野地区にあります。夏になる
と滝の周辺はひんやりとしてきもち
^{たき しゅうへん}よくすごせます。男池から遊歩道で
^{しんりんよく}森林浴をしながらあるくことができ
ます。



くろだけ ひょうこう
黒岳(標高1,587m)

「21世紀に残したい日本の自然100選」
昭和58(1983)年1月1日指定

お いけゆうすい めいすい たき うつく
男池湧水や名水の滝など美しい
しぜん う だ くろだけ
自然を生み出したのが黒岳です。く

れんざん ひがし あ そ
じゅう連山の東にあり、阿蘇くじ

ゅう国立公園に指定されています。登山道にはシャクナゲがさき、
ちゅうぶく しぜん れいぞうこ ふうけつ
中腹には自然の冷蔵庫としてつかわれていた風穴があります。「21世
き のこ にほん しぜん せん せんでい
紀に残したい日本の自然100選」に選定されました。



くろだけ しぜんりん
黒岳の自然林

大分合同新聞選定「大分百景」
昭和37(1962)年11月3日

くろだけ やま ばっさい さいがい しんりん
黒岳の山は伐採や災害などで森林
はかい ひと て くわ
破壊されることなく、人の手も加え
られていないしぜん しんりん
(原生林)で覆われていることか

ら、「大分百景」に選ばれています。ブナ・ケヤキ・オヒョウ・ミズメ・
シデ・コナラのほかに5月・6月には鮮やかなピンク色に咲いたツクシ
シャクナゲ、秋にはカエデ類が紅葉を楽しませてくれます。



けいせんきょう
溪仙峡

けいせんきょう あ そ の がわ そ たに
溪仙峡は、阿蘇野川沿いにある谷
で、夜見渡溪谷とも呼ばれていま
す。渓谷にはケヤキが立ち並び、
いわはだ おか お
岩肌がむきだした丘にモミジが生
いしげり、季節によって、その姿を
か きせつ すがた
変えます。また、野鳥が多く集まる
ため、バードウォッチングを楽しむことができます。



湯布院地域

ゆ ぶ だけ 由布岳

由布院駅を降りてすぐ、由布院のまちなみの奥に見える美しい山が由布岳です。標高は1,584mで、山頂が2つに分かれているのが特徴です。壮大な姿から「豊後富士」と呼ばれ、古くから山岳信仰の対象とされていました。毎年5月上旬に山開きと安全祈願が行われ、一年をつうじて、県内外から多くの人が山登りにおとずれます。



由布岳の恋ものがたり

今よりもずっと昔、由布岳と祖母山が鶴見岳に恋をしました。お互い鶴見岳を手に入れるために勝負しますが、決着がつかず、最終的に鶴見岳に選んでもらうことになります。鶴見岳が選んだのは由布岳。悲しみに暮れた祖母山は大粒の涙を流し、それが今の志高湖になったと言われています。鶴見岳と由布岳の仲は今もアツアツなため、別府と由布院には熱い温泉が湧き続けていると言われています。



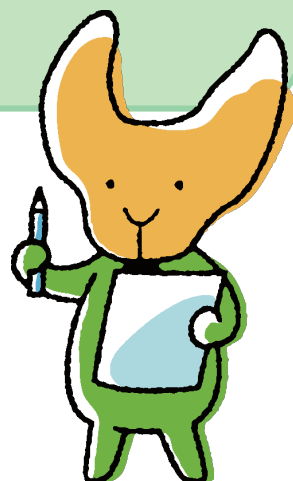
オンセンミズゴマツボ

県指定文化財【天然記念物】平成26(2014)年2月24日指定

オンセンミズゴマツボは、大人になっても4ミリぐらいにしかならない、小さな巻貝です。とても珍しい生き物である理由は、温泉の中でしか生きることができないからです。その温度は約37℃。このように高い温度の真水に住んでいる貝は世界でも、このオンセンミズゴマツボだけです。かつては宝泉寺温泉（九重町）や鉄輪温泉（別府市）などにも生息が確認されていましたが、埋め立てなどにより消えてしまいました。今では世界中でも、金鱗湖のまわりの水路のみでしかみることができません。このことから、平成22(2010)年に「大分県希少野生動植物の保護に関する条例」に登録され、平成27(2015)年には大分県の天然記念物に指定されました。

貴重な生き物「オンセンミズゴマツボ」

平成24(2012)年から由布市役所環境課の中で飼育実験がはじまったよ。約2か月で30匹を200匹に増やすことができたよ。この実験で、オンセンミズゴマツボの寿命や嗅覚があることがわかったんだ。(平成27(2015)年に飼育実験は終わっています。)



寿命は6か月～8か月だよ。
嗅覚があるから、おいしいえさをすぐに見つけられるよ。



ぶっこうじ 仏光寺のイチョウ

市指定重要文化財【天然記念物】
平成19(2007)年6月29日指定

木の^{き たか}高さは26.5m、^{むね たか}胸の高さでの^{みき ふと}幹の太さは5m33cm、とイチョウとしては^{たいぼく}大木です。
イチョウは「^{い か せ き}生きた化石」とも呼ばれています。



きんりん こ 金鱗湖

由布院を代表する^{かんこう}観光スポットの1つが^{きんりん こ}金鱗湖です。名前の由来は、明治のはじめ^{じゅがくしゃ もうりくそう}儒学者・毛利空桑が、湖で泳ぐ^{みずうみ およ さかな}魚のうろこが夕日で^{きんいろ}金色に輝いていたためとされています。湖の底から、きれいな水と^{おんせん}温泉がわいています。一年中^{すいおん たか}水温が高い金鱗湖では冬のはやい朝、^{ゆ げ}湯気がたちのぼる^{げんそうてき こうけい}幻想的な光景を見ることができます。



あそ こくりつこうえん 阿蘇くじゅう国立公園

あそ こくりつこうえん くもとけん おおいたけん きゅうしゅう なか
阿蘇くじゅう国立公園は熊本県と大分県にまたがる九州のまん中に
い ち こくりつこうえん そうめんせき
位置する国立公園です。総面積は、72,678 ヘクタールあります。おお
きく3 のエリアにわかれています。1つ目が、くもとけん あそさん ちゅうしん
熊本県の阿蘇山を中心と
ち い き め くらだけ れんざん
した地域、2つ目が黒岳のあるくじゅう連山、そして、3つ目がゆふだけ
つるみだけ
と鶴見岳といったとなっています。すべて火山を中心にした山で、そ
かざん ちゅうしん やま
のまわりにはゆうだい そうげん とくちょう
雄大でなだらかな草原がひろがっているのが特徴です。



おおいたがわ 大分川

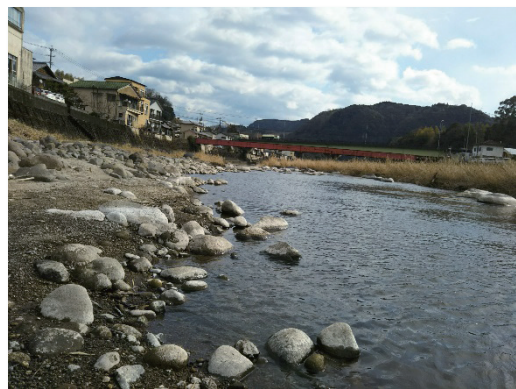
おおいたがわ おおいたけん ま なか なが いっけゅうか せん じょうりゅう かりゅう
大分川は大分県の真ん中を流れる一級河川です。上流から下流まで
なが りゅういきめんせき ゆ ふ だけ にしがわ ゆ ふ い ん ほんち
の長さは55kmで、流域面積は650km²。由布岳の西側から、由布院盆地
なんとう なか しょうないち い き あ そ の が わ せりがわ ごうりゅう おおいたし
を南東に流れながら、庄内地域の阿蘇野川、芹川などと合流し、大分市
のまちなかをとおり、べっ ぶわん なか ゆ ふ し せいかつ
別府湾に流れこんでいます。由布市の生活のな
か ひつよう みず おお おおいたがわ きんねん むかし
かで必要となる水の多くを大分川にたよっています。近年、「昔にく
らべてホテルがすく なくなつた」「泡があわ う 浮いている」など、川の水質が悪
くなっているのではと心配する声が多くよせられています。そこで、
じゅうみん しゅたい ゆた みずかんきょうそうしゅつ か い ぎ せつりつ
住民が主体となり、「豊かな水環境創出ゆふいん会議」が設立されま
した。ゆ ふ し なか おおいたがわ かんきょう まち かつどう
由布市をつらぬいて流れる大分川の環境を守るために活動して
います。

●調べてみよう、やってみよう！●

- | | | |
|---|----------------------|--|
| 1 | 大分川の源流がどこにあるか調べてみよう。 | |
|---|----------------------|--|



～大分川の源流(由布院)～



～大分川の中流(小野屋)～

由布市のたくさんの温泉



湯布院地域



全国で有名な温泉地です。「塚原温泉」「由布院温泉」「湯平温泉」⁴という3つの温泉地があり、それぞれ違った温泉を楽しむことができます。共同浴場もたくさんあるので、温泉めぐりが楽しめます。

ゆ ふ いん おんせん きょうどうよくじょう 由布院温泉の共同浴場

きょうどうよくじょう ちい き ひと かんり おんせん し せつ ゆ ふ いん
共同浴場とは、地域の人たちで管理している温泉施設です。由布院には、
きょうどうよくじょう おんせん えん はい
5つの共同浴場があります。どの温泉も200円で入ることができます。



おとまるおんせんかん
～乙丸温泉館～



おんせん
～ゆのつぼ温泉～

(そのほかに、川西温泉、加勢の湯があります。)



由布市の情報発信ツール

由布市ポータルサイト「ゆふポ」ができました!

由布市の暮らし・防災・観光情報をわかりやすくまとめた「由布市ポータルサイト」(通称「ゆふポ」)を公開しています。

由布市に訪れた人も住んでいる人も役立つ情報を掲載しています。

「ゆふポ」で由布市の良いところを知って、由布市をPRしていきましょう。

スマートフォン、タブレットで右記のQRコードを読み取るか、下記アドレスからアクセスしてください。たくさんのご利用をお待ちしています。

<https://www.portal-yufu.jp/>



ポータルサイト用

⁴温泉地の分類は『おおい温泉白書』20ページ「大分県の温泉地」を参考。

ゆのひらおんせん 湯平温泉

江戸時代から有名だった湯平温泉。薬などがあまりなかったこの時代に温泉は最高の治療とされていました。中でも湯平温泉は胃腸病に効くことで有名だったため、温泉地としてさらに発展していきました。今でも湯平の石畳は当時のまま、おもかげを残しています。



湯平温泉と種田山頭火

昭和5(1930)年に俳人・種田山頭火が湯平温泉に宿泊したときに詠んだ「しぐるるや人のなさけに涙ぐむ」。この句は、山頭火がかわらに干していたせんたくものを、急にふりだした雨に濡れないようにと、宿の娘が取り込んでおいてくれたことに感激して詠みました。湯平温泉にいくと、この句がきざまれた碑が立っています。

しぐれかん 時雨館

湯平温泉に泊まった俳人・種田山頭火を記念して建てられた美術館です。目立たない場所にあり建物も古くなったため、平成29(2017)年6月にメインの石畳通りに移転しました。山頭火を題材にした絵や俳句の作品、山頭火の写真を見ることができます。いすやテーブルもあるので、ゆっくりすごすことができます。



お手持ちの携帯端末で
由布市の情報がもっと見やすく、もっと届く。
もっと由布市が好きになる。

スマートフォンやタブレットで右記のQRコードを読み取ると公式アプリ「ゆふポ」がダウンロードできます。

アプリをダウンロードすると、由布市での暮らしに役立つ「お知らせ」が携帯端末に届きます。

暮らし・防災・観光の情報がぎゅっとつままったアプリです。



iOS端末用



アンドロイド端末用

アプリを
ダウンロード
してね～!



このマークがある場所では、「無料公衆無線LAN」が利用できます。由布市に訪れた方が、この場所でインターネットに接続することで、宿泊・観光・食の情報を手軽に知ることができます。由布市は観光客の快適な旅をサポートします。

寅さんの映画撮影地になった湯平温泉

湯平温泉は昭和57(1982)年12月に公開された映画「男はつらいよ」シリーズ第30作目の「花も嵐も寅次郎」の撮影地になりました。当時は寅さん役の渥美清さんをはじめ、沢田研二さんや田中裕子さんなど有名な俳優が湯平温泉を訪れ、撮影が行われました。それを記念して、湯平駅のホームの待合所を改装し、ロケ時に使われた写真などを掲示した「寅さん思い出の待合所」として公開しています。実際に映画の中で寅さんが使用した「縁結びのベンチ」も保存されています。



つかはらおんせん 塚原温泉

つかはらおんせん ゆ ふ だけ きたがわ い ち しゅくはくし せつ
塚原温泉は由布岳の北側に位置しています。宿泊施設はプライベート
くうかん たいせつ おお つかはらこうげん うつく し ぜん なか
空間を大切にしているところが多いです。塚原高原の美しい自然の中
には、たち寄り湯やカフェ、工房などがありゆったりとした時間をす
ごすことができる人気のスポットです。

だいひょうてき おんせん つかはらおんせん か こう の いすみ か ざん かつどう つづ が ら ん だけ
代表的な温泉は、「塚原温泉 火口乃泉」。火山活動が続ける伽藍岳か
ら吹き出る温泉は皮ふによく効くとされています。

庄内地域

黒岳のふもとには、多くの冷鉱泉（冷たい温泉）や全国でもめずらしい天然の炭酸水⁵がわき出しています。庄内地域の温泉は地域の人々のいこいの場になっています。福祉施設でも、温泉が使われているなど、地域の住民に親しまれています。



みことピア ほんぼの温泉館 おんせんかん

JR久大本線庄内駅のすぐ近くにある温泉です。地元の人たちによく利用されています。露天風呂や広々とした内風呂があり、食べ物や飲み物を持ち込んで休憩できる場所もあります。文字通り、ほんぼのに入浴することができます。



挾間地域



挾間地域には別府市に近い北部を中心に温泉施設が点在しており、地元の人たちだけでなく大分市からもたくさんの方が温泉に入りにきます。温泉の質はとてもよいです。家族で入れるお風呂がある施設も多く人気があります。

⁵水メディア「天然炭酸水を日本（国産）で採取できる場所や地域と歴史」<https://atz-1.com/?p=2761>

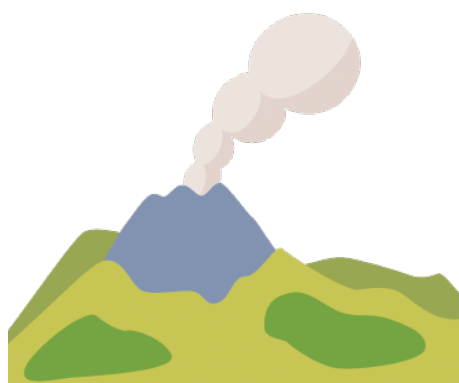
由布市から地球を感じる「由布ジオパーク」

「ジオパーク」とは、地球（ジオ）に親しみ、地球を学び、地球を楽しむ場所です。山や川、足元の土や岩をよく見て、その成り立ちや仕組みに気づき、生態系や人間の生活とのかかわりを考える、つまり地球をまるごと考える場所、それが「ジオパーク」です。

私たちの住む由布市にも、実はそんな貴重な場所がたくさんあります。身近な場所をもういちど見わたし、よ～く観察してみませんか？

由布市の地質からみる特徴

由布市には別府市から長崎県島原を走る別府－島原地溝帯に一部の地域がはいつています。そのため、温泉や火山、特殊な堆積構造など、めずらしい自然を見ることができるポイントがいくつもあります。なかでも、由布岳は、噴火が約3万5千年以前から始まり、2000年～1500年前にも噴火がおこっています。主な火口ではない場所からの噴火がおこる側火山も多く形成されています。火山の活動を地形などを通して学ぶことができるため、とても貴重です。別府市や九重町と並び、本市は地質学的にも価値が高い地域とされています。



つかはらいおうやま がらんだけ ふん き 塚原硫黄山(伽藍岳)の噴気

つかはらいおうやま がらんだけ ゆふし べつふし
塚原硫黄山(伽藍岳)は、由布市と別府市
とのさかい近くにある標高1,045mの
活火山で、約9,500年前にできたと考え
られます。山の南側には直径約300mの
火口があり、地面のヒビや穴から火山ガ
スなどが噴出しています。1200年前と
1000年前に起こった小規模な水蒸気爆発
や噴火で、火山灰や土石流が堆積したと考えられています。

湯布院地域



庄内地域

しょうないちょう あ そ の けいそうど たいせきこうぞう 庄内町阿蘇野の珪藻土と堆積構造

阿蘇野にある珪藻土採掘場では、
良質な珪藻土の地層（珪藻が石化する
ことによってできた地層）を見ることが
できます。土層には植物の花・実・
花粉を含んでおり、そこから堆積当時
の植物だけでなく気候も知ることができます。

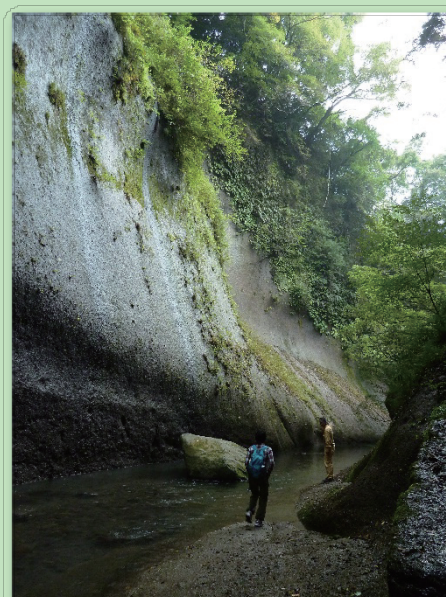


●調べてみよう、やってみよう！●

1	阿蘇野の珪藻土層の観察に行ってみよう。	
2	観察した化石を基に植生や気候について調べてみよう。	

ゆ ふ が わきょうこく 由布川峡谷

由布川峡谷は由布川火砕流が積もった
地面を由布川が長い時間をかけて浸食
し、つくられた峡谷です。切り立った崖
からは、火砕流堆積物の特徴でもある
小さな軽石をたくさんみることができます。
このように、由布川峡谷は
地質学的にも観察しやすい環境があ
る、貴重な学びができる場所になってい
ます。



挾間地域

